



認定看護師だより

2016年6月 第1号
発行:認定看護師会

当院には現在、皮膚排泄ケア、摂食・嚥下障害看護、感染管理の3分野3名の認定看護師が在籍し、1名が認知症看護の教育課程を修了しました。
そこで今年度より毎月1回認定看護師会を開催することになりました。
各分野の活動について情報交換を行い、少しでも皆様のお役に立てるような活動をしていきたいと考えています。
また、今月より「認定看護師だより」を発行することになり、第1号は摂食・嚥下障害看護分野より、佐藤龍馬が担当しました。

5月25日に当院で「誤嚥を防ぐポジショニングと食事ケアの技術伝承」POTT(ぽっと)プログラム研修が開催されました。



POTT研究会代表
日本赤十字広島看護大学
迫田綾子先生の講義



たわみを
補正して!

サポーター大分赤十字病院
摂食・嚥下障害看護CN東玲子さん

POTTプログラムは、**ベッド上リクライニング位での食事をするためのポジショニングと、シーティング(車いす)で食事をするための援助技術**のひとつです。主な技術は、食前、食事中、食後の姿勢調整と食事介助が入ります。プログラムは、看護職を中心としたポジショニング技術を研修会で体験的に学習します。
スキルチェックで合格点に達した人は、スタッフや介護職に対して次々と伝えて全員が同じレベルの技術に到達することを目指します。



患者体験と
圧抜きの演習

足底接地



いつもの食事介助
との違いを体感

NPO法人「口から食べる幸せを守る会」副理事長竹市美加先生による車椅子シーティング指導



食事援助する場合は、まず車椅子の構造や座面クッション素材の特徴等を把握し、楽に食事姿勢が取れるように調整する必要があります。
食事姿勢を整えることは、誤嚥や褥瘡を予防することに繋がります。

フットレストから足をおろして、足底を接地することで姿勢が安定します。



足が着いていると安定する

体験者の声

- ・今までの体位が申し訳ないです。
- ・患者役になって短時間ですが気持ちがわかった。
- ・ポジショニングを考えながらおこなうようにしたいと思った。
- ・スプーンの入れ方、患者さんは食べにくかったんだろうな。
- ・実際に体験しこんなに違うと感ずることができた。
- ・このような研修を受けることができよかったです。皆につたえていきたい。
- ・入院患者さんの約8割が後期高齢者なので、きちんと看護技術として定着できたと思います。
- ・クッションが院内に不足しているため物をそろえて、それをうまく使えるようにしていきたい。ありがとうございました。



これから、皆さまに
伝承していきます!

ポジショニング(P0)で食べる(T)喜びを伝える(T)

POTT(ぽっと)プログラム

ホームページ公開! <http://pott-program.jp>

※詳しくはホームページを参照してください

出典「迫田綾子研究データ等」より引用



【編集後記】

初めての「認定看護師だより」はいかがでしたか。今後も定期的に発行し、新しい情報などをお届けしたいと思います。

認定看護師会